

和菓子と季節の行事



『和菓子のほん』（中山圭子/阿部真由美、福音館書店、2008）にはいろいろな季節の和菓子が描かれています。

その形や色の美しさ、菓子から季節を感じようとする日本の心などが表現されている和菓子は私たちの生活にも根付いています。

日本古来より和菓子に使われることの多い小豆は、その煮汁が赤く色づくことから「お祝い」「魔除け」などの意味があるとされ、季節の行事ごとに食べる（＝体に取り入れる）ことで災いを避けられると考えられています。

あさひ幼稚園でも、行事の時には子どもの成長を願い、和菓子を食べる機会を取り入れていきたいと思っています。